

熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2023

ゆきかつひら

黒毛和種種雄牛「幸勝平」の選抜



平茂幸
黒13942

平茂勝
黒原2441

第20平茂
黒育134

うらら
黒1991357

紋次郎
黒高938

ひめ
黒高209650

平茂勝
黒原2441

第20平茂
黒育134

やすひめ
黒高208293

安平
黒原2208

気高系

但馬系

問 研究のねらいは？

答 全国に通用する優良な県産種雄牛の作出が期待されており、牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 本牛は第11回全国和牛能力共進会の第1区(若雄の部)で優等賞を受賞した経歴を持ち、種牛性の面で全国上位レベルにあります。現場後代検定成績では、すべての項目で歴代トップクラスの成績であり、県有種雄牛「平茂幸」の後継として、肉量、肉質の両面で改良への貢献が期待されます。

【現場後代検定成績】

(単位:kg, cm², cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(4等級以上)
去勢 10 頭	28.4	550.5	69.2	8.6	1.9	75.6	9.50	100.0% (10/10)
雌 9 頭	28.5	473.5	65.2	8.3	2.2	75.6	6.22	55.6% (5/9)

【産子の枝肉(去勢)】



形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
枝肉重量	小さい							大きい	3.09
ロース芯面積	小さい							大きい	2.09
ばらの厚さ	薄い							厚い	2.97
皮下脂肪	厚い							薄い	1.26
脂肪交雑	少ない							多い	1.97

枝重	556.8kg
ロース	87cm ²
ばら厚	9.5cm
BMSNo.	12
等級	A-5

標準化育種価 (SBV) とは？

各形質の育種価を同一スケール上で比較したもの。値が+1以上の場合、改良効果が高い。